

盛土を行う土地の部分を赤系色、
切土を行う土地の部分を黄系色に着色

現況図（従前の土地利用が行われていたとき）と
土地利用計画図を重ね合わせた図面とする

盛土又は切土をする前後の地盤面の標高の差が
30cmを超えない範囲を同系色のハッチングで示す
（工事施行区域の面積が500m²を超える場合）

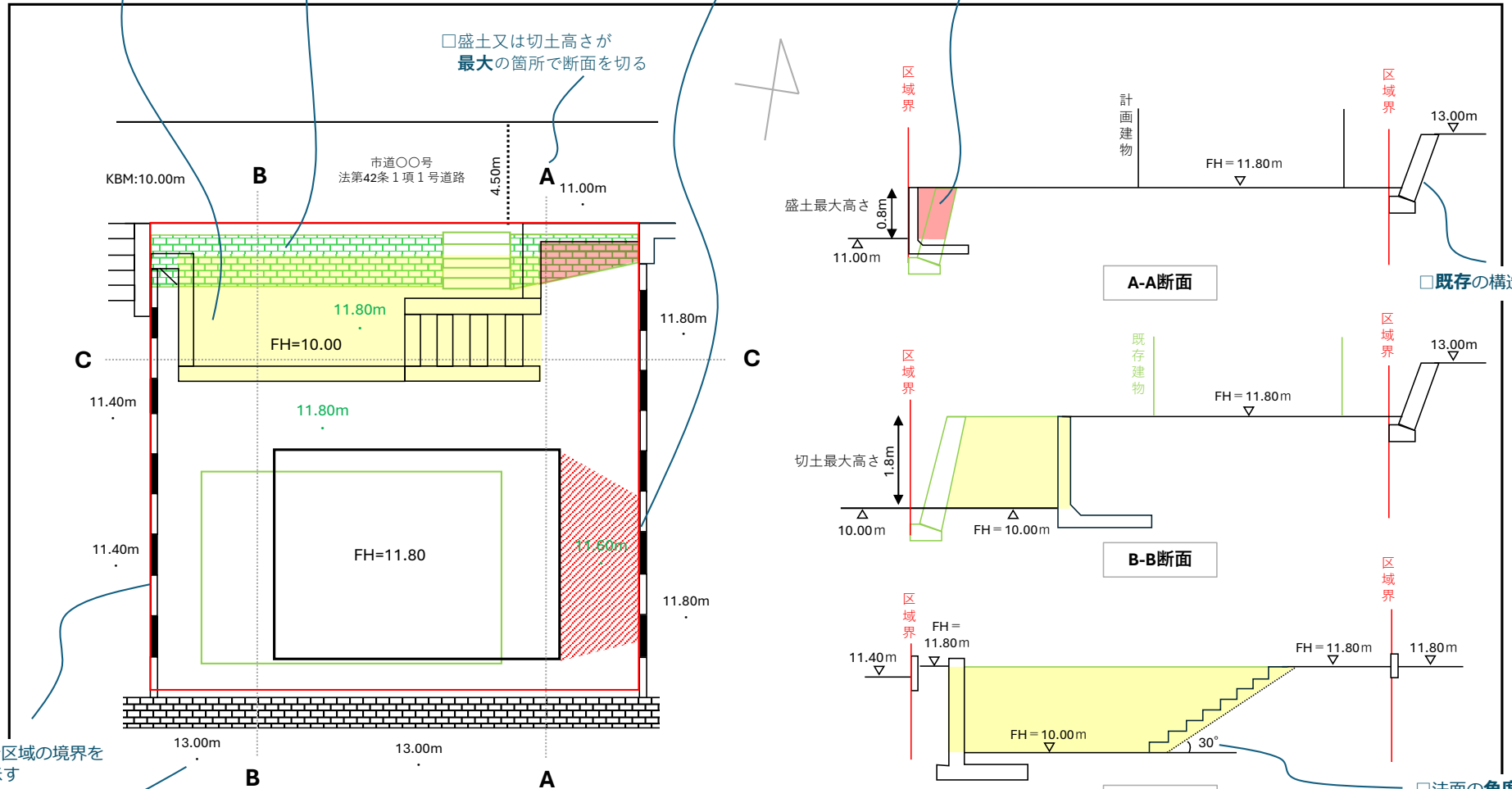
新設する構造物を記載
解体する構造物を記載

Ex.間知擁壁からL型擁壁

Ex.地下車庫からL形擁壁

※擁壁等の部分は、土とは取り扱いません

盛土又は切土高さが
最大の箇所で断面を切る



工事施行区域の境界を
赤色で示す

既存の構造物を記載

法面の角度を記載

凡例		施工区域	・ 11.00m	現況高		ブロック積み		切土	事業名	〇区〇町 計画	図面	造成計画平面図・断面図
		計画高		現況		RC擁壁		盛土	作成日	令和 年 月 日	縮尺	1/〇〇〇

区域外の高低差を記載

現況高と計画高の区別がつくよう、記載の仕方を分ける
Ex.色や濃さを分けるなど

造成平面図・断面図記載例

作成日：令和8年4月1日 作成者：横浜市建築局宅地審査部宅地審査課

⑤ 本資料に掲げる図面の記載例は、理解促進を目的とした参考例であり、特定の計画・地盤条件・荷重条件等への適合性を担保するものではありません。